

3 患者支援の充実

資料 1

- (1) がん患者の相談支援 計画P 56
- (2) がん患者への情報提供 計画P 57
- (3) 就労支援等のがんサバイバーシップ支援 計画P 57-58

《第3期大阪府がん対策推進計画における個別目標及びモニタリング指標》

	個別目標	計画策定時の状況	現在の状況	2023年度の目標
1	がん相談支援センターの認知度 【がん患者ニーズ調査】	82% 【平成28（2016）年度】	88.9% 【令和元（2020）年 度】	100%

	モニタリング指標	計画策定時の状況	現在の状況
1	がん相談支援センターの相談件数 【がん診療拠点病院現況報告】	80,140件／64病院 （小児がん除く） 【平成28（2016）年】	93,002件／66病院 （小児がん除く） 【令和元（2019）年】

<p>現状・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆がん診療拠点病院のがん相談支援センターの利用促進につながる取組みが必要。 ◆がんに関する情報があふれる中で、その地域において、がん患者や家族が確実に必要とする情報にアクセスできる環境整備が求められている。 ◆働く世代では、がん治療と仕事の両立など就労支援が求められている。 ◆高齢者世代においては、人生の最終段階における医療に係る意思決定支援などが必要となっている。
<p>本年度の取組</p>	<div style="float: right; border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin-left: auto;"> <p>本年度評価 概ね予定 どおり</p> </div> <p>《がん相談支援センターの機能強化、周知と利用促進》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■療養情報冊子を改訂し拠点病院等へ配布予定。大阪府立中央図書館及び大阪国際がんセンターとの共催により、図書館&がん相談支援センター連携ワークショップを実施。 ■大阪府がん診療連携協議会と連携し、がん相談支援センターアンケートを実施。 <p>《就労支援等のがんサバイバーシップ支援》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■府教育庁において府立高校に在籍する長期入院中の生徒への学業支援を実施。また、入院中の小児・AYA世代のがん患者への学習活動支援や通信機器の活用による外部とのコミュニケーションを図るための環境整備費等に対し助成（7病院）。 ■AYA世代への支援に関する市町村や関係機関向けセミナーを開催。 ■府商工労働部と連携して、企業向けセミナーで両立支援に関し情報提供。 <p>《新たな課題への対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■小児がん患者を対象とした重粒子線治療の助成制度を運用。 ■がん・生殖医療ネットワークと連携して作成した、患者向けの生殖機能の温存に関する冊子を活用し、がん拠点病院で情報提供。
<p>今後の取組予定</p>	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■多様なニーズに対応できる相談体制充実、相談支援センターの利用促進、がんに関する情報発信の強化 ■治療と仕事の両立支援に関する積極的な普及啓発。 ■小児・AYA世代のがん患者の妊孕性・生殖機能温存治療にかかる支援。 <p>《次年度の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■患者等のニーズを踏まえた相談員向け研修会を実施、がん相談支援センターの機能強化。 ■関係機関との連携し就労支援に関する啓発を実施。 ■小児・AYA世代のがん患者の妊孕性温存治療助成事業の実施（2月府議会に予算案提案中）。
<p>最終予算(案)</p>	<p>がん診療連携拠点病院機能強化事業（140,342千円）、大阪府小児がん患者ニーズ調査（200千円）、小児・AYA世代のがん患者支援事業（1,500千円）等</p>